



平成 23 年度 One Book One OSAKA 事業子ども運営委員会議事録

1. 日 時 平成 24 年 3 月 3 日(土)午後 2 時～3 時半
2. 場 所 大阪市立中央図書館 5階 中会議室
3. 会議内容

- ・ 議事

(1) 「大阪市 One Book One OSAKA 事業」について (事務局より説明・報告)

- ・本事業の概要

「大阪市 One Book One OSAKA 事業実施要綱」参考

- ・これまでの経過

子ども運営委員長・副委員長選出

運営委員長:水谷さん 副運営委員長:藤井さん に決定。

(2) 第 3 回「One Book—大阪市の 1 冊の絵本—」の候補について

- ・最終得票状況報告(事務局より)

★**総投票数は 14,194 票** (第 1 回 8,466 票 第 2 回 13,012 票)

絵本への投票は、9,836 票、絵本以外の本への投票 4,223 票、

第 3 回の投票では、第 1 回 One Book の『はらぺこあおむし』は殿堂入りのため、それ以外の絵本に投票してもらうよう投票用紙に書き込んだものの、『はらぺこあおむし』は、135 票獲得、全て合せて 14,194 票。

★**ランキングについて**

- ・シリーズをまとめて集計したトップ 10
- ・1 冊の絵本の得票数でランキングした単独絵本トップ 5
- ・絵本以外の本のトップ 10
- ・シリーズまとめてトップ 100
- ・単独絵本トップ 100
- ・年代ごとのランキング

(1-6 歳、小学校 1-3 年生、小学校 4-6 年生、中学生、15 歳以上の 10 代、20-40 歳代、50 歳代以上 での上位 20 位の絵本のタイトルとそれぞれの得票数、また絵本への投票総数)

★上位選出の絵本について

シリーズまとめてでは、

- 1位 511票 『ぐりとぐら』(中川李枝子/作 福音館書店刊)
- 2位 201票 『おまえうまそうだな』(宮西達也/作・絵 ポプラ社刊)

単独絵本では

- 1位 367票 「ぐりとぐら」(中川李枝子/作 福音館書店刊)
- 2位 131票 「100万回生きたねこ」(佐野洋子作・絵 講談社刊)
- 3位 99票 「おまえうまそうだな」(宮西達也/作・絵 ポプラ社刊)



子ども運営委員の意見

- ・『ぐりとぐら』を題材にして、One Book 関連イベントを1年間かけて行ってきたのだから、単独絵本でも1位、シリーズでまとめても1位という結果は当たり前ではないだろうか。『はらぺこあおむし』と同じように、殿堂入りさせてはどうか。
- ・いったん One Book になった『ぐりとぐら』を、第3回の One Book にも選ぶのはやめたほうがいい。いろんな絵本を紹介するほうがよいと思う。
- ・シリーズ2位、単独3位の『おまえうまそうだな』と、単独絵本2位の『100万回生きたねこ』のどちらかの絵本を第3回の One Book に選ばばどうか？
- ・『おまえうまそうだな』がいいと思うが、題材が恐竜なので、女の子にはちょっと馴染みにくいかもしれない。でも『100万回生きたねこ』は、小さい子には難しい内容ではないか。
- ・ティラノサウルスのやさしさが伝わってくる絵本なので、『おまえうまそうだな』がよい。
- ・『100かいだてのいえ』(シリーズ9位単独6位)がいいと思う。小さい子も読めるから。
- ・大阪市民の投票結果を尊重して、1位の『ぐりとぐら』にしたい気持ちはあるが、イベントをするときに去年と同じだと、参加者もイベントを開催する私たち子ども運営委

員にとっても楽しみが減る。単独絵本 2 位の『100 万回生きたねこ』は、幼児には読み聞かせしにくいので、シリーズ 2 位、単独絵本で 3 位の『おまえうまそうだな』がよい。

- One Book の関連イベントを子ども運営委員として 2 年間やってみた。参加するのは小さい子が多いので、楽しんでもらうイベントにするためには、『おまえうまそうだな』の方がよいと思う。
- イベントを企画する方と来てくれる子どもたちが楽しめれば良いと思うので、シリーズ絵本で、『ぐりとぐら』に次ぐ投票数の『おまえうまそうだな』がいい。
- 1 度 One Book になっても、知名度の高い『ぐりとぐら』が、やはり大阪市の 1 冊の絵本 One Book に選ぶのがいいと思う。
- 『100 万回生きたねこ』を第 3 回の One Book に選べば、今まで読んでことがない子どもたちにも読んでもらえるいい機会になるのではないかな。
- 『おまえうまそうだな』を第 3 回の One Book に選んで、併せて、『100 万回生きたねこ』は、単独で『ぐりとぐら』に次いで 2 位だったことを各区で開催するイベントの際にアナウンスしていけば、読んでもらうきっかけになるのではないかな。

→子ども運営委員会としては、第 3 回の One Book は、『おまえうまそうだな』(宮西達也著 ポプラ社刊)を推薦する。『100 万回生きたねこ』(佐野洋子著 講談社刊)についても、ランキング上位絵本として積極的に紹介していきたい・・・という意見を 3/5 の One Book One OSAKA 事業運営委員会に報告する。

(3) 今後の子ども運営委員の活動について

- 第 3 回 One Book の報告会(4 月の春休み中を予定)
- 第 3 回 One Book One OSAKA 発表会(4/23:子ども読書の日、月曜日)※昨年の子ども読書の日は土曜日で、子ども運営委員の活躍の場となった。今年は平日にあたり、子ども運営委員は参加できないので、発表イベントをずらす等検討してみては? ⇒ 4 月 23 日発表会、28 日春のお楽しみ会で子ども運営委員参加
- One Book にちなんだ行事等の企画